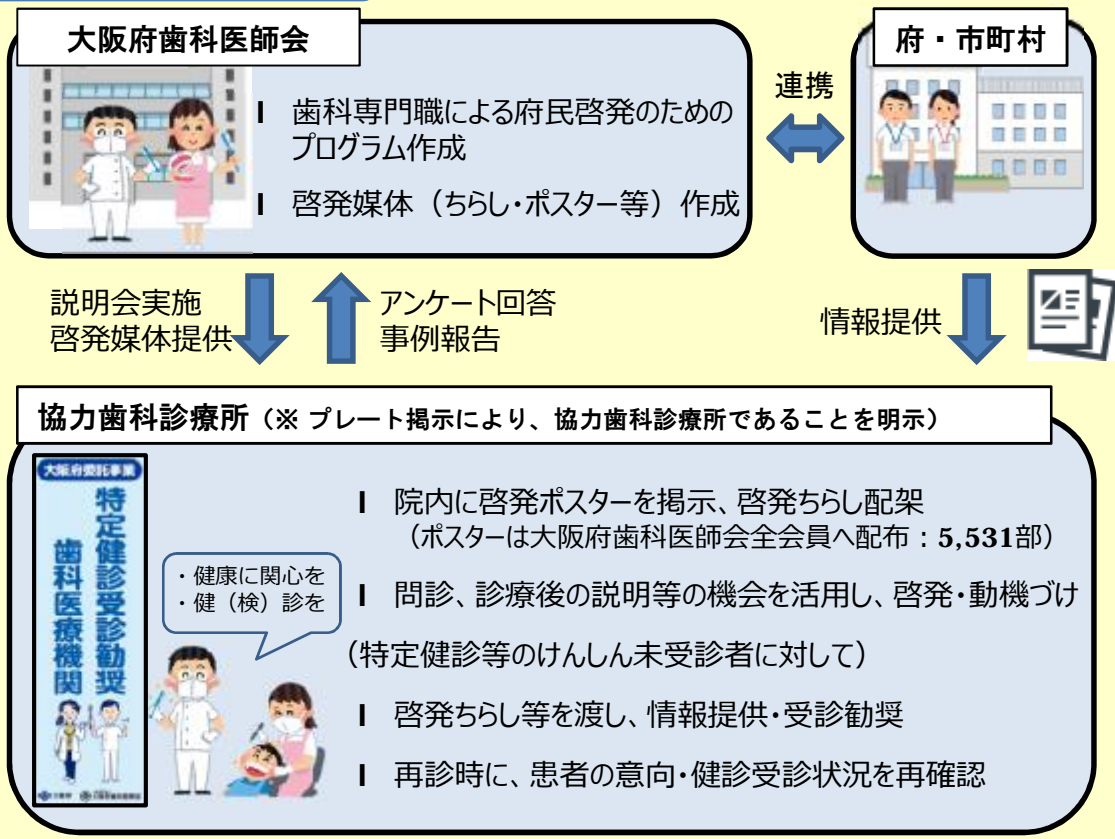


歯科医療機関と連携した特定健診等の受診勧奨プログラムの開発

趣旨・目的

- I 平成30年度より、特定健診の「標準的な質問票」に歯科に関する項目が追加され、特定健診・特定保健指導において歯と口の健康の重要性が高まっている。
 - I 口腔の健康状態と生活習慣・基礎疾患は密接に関連（※）しており、特定健診をはじめとする健診・検診について、実際に体の一部（口腔）を診た歯科専門職からの受診勧奨、府民啓発は説得力が強い。
 - ※ 食習慣や喫煙等の影響は口腔内に現れやすく、また咀嚼能力の低下は食生活の乱れにつながりやすい。
 - ※ 現在歯数が19歯以下の者は、20歯以上の者と比較して、糖尿病、脳卒中、がん、高血圧症、脂質異常症の発症率が高い。（出典：深井獲博ほか、日本歯科医学会雑誌、2018）
- ⇒ 歯科専門職からの特定健診等の受診勧奨、健康情報の発信・啓発をより効果的に行うためのプログラムを開発する。

事業スキーム



結果

■ 主な取組内容

- 受診勧奨プログラムを展開（11月～2月、4地区：大阪市東、茨木市、東大阪市西、岸和田市の地区歯科医師会）
- 協力歯科診療所で啓発ちらし配架（計 2万部）
- 患者アンケートにより、特定健診の認知度、受診状況、啓発後の意識、受診行動等を検証（計 71診療所で調査）

■ 事業成果（患者アンケート結果より）

- 歯科受診患者の特定健診受診状況（回答数：414名）
 - 特定健診を知らない： 40.8%
 - 受診したことがない： 64.6%
 - 今年度未受診： **83.3%**
 - ⇒ 受診勧奨の結果、未受診者の **54.1% が受診の意向**
- 再診時の追跡調査結果（回答数：119名）
 - ⇒ **13名（10.9%）が受診**（うち10名は過去の受診経験なし）

「健康格差」の解決プログラム促進事業（特定健診）

受診勧奨プログラム

特定健診の認知度、受診状況に応じて受診勧奨

A 特定健診を知らない方へ

特定健診ってなに？
(特定健康診査)

患者

- いわゆるメタボ健診のこと
- メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健診
- 生活習慣病の予防のために実施
- 40歳以上74歳以下の被保険者・被扶養者が対象

歯科医

だから特定健診を受診しましょう!

**B 今年度4月以降
特定健診が未受診の方へ**

内臓脂肪型肥満、
高血圧、脂質異常、
高血糖など

特定健診でこれらを
早期発見することが
重要です

↓

動脈硬化

↓

狭心症、心筋梗塞、
脳卒中など

だから特定健診を受診しましょう!

見た目は肥満でなくても、油断は禁物です!

腹囲がメタボの判定基準に達していない場合でも、検査値を総合的に判断して生活習慣の改善を図っていくことが重要です。

予備群 高血糖、高血圧、脂質異常など

毎年、特定健診を受診しましょう

特定健診で生活習慣病のリスクを免れし生活習慣を改善することが重要です。歯や、口の健康を守ることは全身の健康を守ることにつながります。

どこで受診できるの？

- ・市町村国保：府内の取扱医療機関(約4,500か所)や集団健診会場で実施。詳しくはお住まいの市町村窓口にお問い合わせください。
- ・協会けんぽ：詳しくは協会けんぽ(全国健康保険協会)支部 などにお問い合わせください。

C 今年度4月以降に、特定健診を受診された方へ

毎年受診することが大事です

生活習慣病は初期には自覚症状が現れないことが多い。
→健診を受けて、健康状態を把握しましょう!

患者アンケート

受診状況、受診に対する意識等を把握

問
紙

太枠内のみご記入ください。

- 特定健診(特定健康診査)を知っていますか?
はい ・ いいえ
- 特定健診を受けたことがありますか?
はい ・ いいえ
- (2-1.で「はい」を選択された方にお伺いします)
いつ受けられましたか?該当するもの全てに○を付けてください
〔2019年4月以降 ・ 2018年4月～2019年3月 ・ 2018年3月以前〕
- この質問票の回答については、個人が特定されない形で集計の上、大阪府委託事業(健康格差の解決プログラム促進事業)で使用することに同意しますか?
同意する ・ 同意しない

歯科医師記入欄

年月日	月	日	月	日	月	日
月	日					

<特定健診について>
患者さん状況

①受診済
②予約済
③受診の意向あり
④受診の意向なし
⑤不明

40歳から74歳のあなたへ
「特定健診」を受けましょう

歯・口から「生活習慣病」予防を

「特定健診」は生活習慣病を予防するための健診です。

大阪府

大阪府歯科医師会

啓発ポスター

歯科診療所に掲示